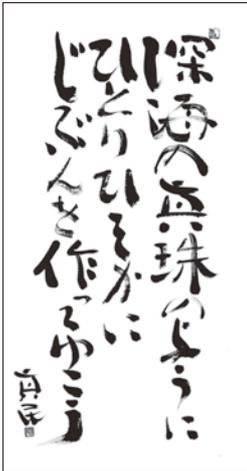




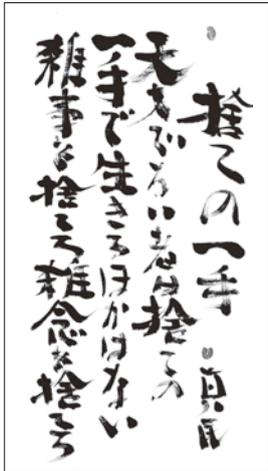
## ■ 第1 展示室

### 常設展「坂村真民の詩の世界」

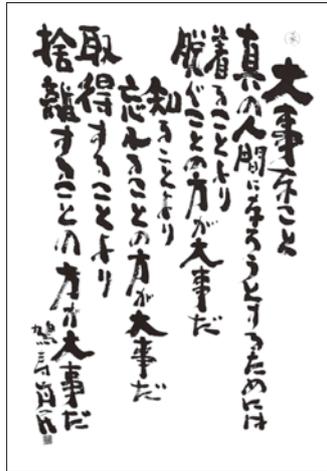
これまで未展示の作品を中心に新たな真民詩の詩墨作品を展示します。



(額装:95×50)



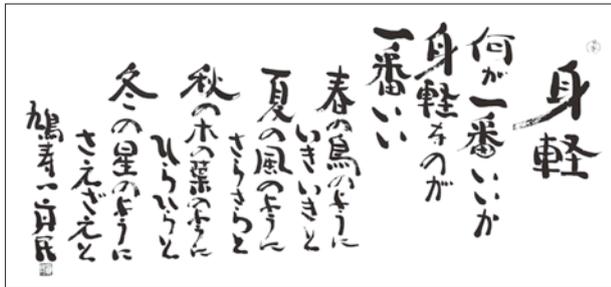
(額装:95×50)



(額装:130×87)



(額装:42×39)



(額装:83×192)

## ■ 第2 展示室

### 「三瓶時代の坂村真民～『六魚庵天国』の世界～」

坂村真民が昭和21年5月から4年間過ごした三瓶町での、切なくも愛情あふれる家族の生活を詠った詩を集めた第一詩集「六魚庵天国」(昭和26年4月発行)から、代表的な詩を7～8篇取り出し、その詩が生まれてきた背景や、真民と三瓶町の人々との交流の様子などを解説・展示します。

あの時のことを  
お互い忘れまい  
ふたりが  
かたく誓いあつたときのこと  
おもひあがつたときのこと  
いつも思い出そう  
始めて父となり  
始めて母となった  
あの日の嬉し涙を  
お互い  
古くもつてゆく筈に  
新しいものを入れなおそう  
おのれを失ったときは  
いつも語りあおう  
慰めあい悲しみあい苦しみあい  
二人ですこしてきた数々のことを

あの時のことを (三味から)



▲昭和24年秋に三瓶の家の前で

かなしみは  
わたしを強くする根  
かなしみは  
わたしを支えている幹  
かなしみは  
わたしを美しくする花  
かなしみは  
いつも枯らしてはならない  
かなしみは  
いつも生きてはならない  
かなしみは  
いつも噛みしめてはならない  
かなしみは  
いつも噛みしめてはならない

2

1  
悲しんで帰ってきた父を  
どりかこんで迎える子らよ  
父のかなしみを  
生きてゆくために  
どんなに苦しんでいかか  
いつかは知ってくれる時があるう  
つめたくなった飯を  
ひとり食っている  
涙がにじんでくる  
父ちゃんおそかったね  
父ちゃん何してたの  
かわるがある尋ねる子らよ  
慰めてくれるのはお前たちだけ  
お前たちだけのために何もかも我慢して  
明日もまた働こう  
あ、どんなに非難されようとも  
どんなに鞭うたれようとも  
敢然と太刀打ちできる  
強い人間になりたい  
強くならねばならぬ  
強くなるように祈らねばならぬ

六魚庵哀歌

## 海辺の町三瓶で、短歌から詩の道へ歩み出す

坂村真民は、昭和21年5月家族を伴って、朝鮮から引き揚げて住んでいた熊本の母の家から、愛媛の三瓶町に移ってきた。

「蒼穹」同人の佐伯秀雄が、三瓶の山下第二高等女学校の校長をしていた縁で、この学校の設立の趣旨に心動かされ、教員としてやってきたのである。今回の展示では、やさしく明るい三瓶の人々との交流を通して、貧しいながらも精一杯生きようとした、坂村真民の生き様とそこから生まれてきた詩の数々を紹介しします。坂村真民は、悩み苦しんだ時にはいつも、「六魚庵天国」の時代を思い返しては、自分自身を奮い立たせていました。

また、第1展示室では新たな詩墨作品約40点を展示します。



- 駐車場：普通車 約100台、大型バス駐車場可 <アクセス>
- ◆ お車の場合  
松山自動車道 松山IC から国道33号利用  
所要時間：10分～15分
- ◆ 松山市駅からの場合  
伊予鉄道路線バス（砥部線（大街道経由））  
「断層口」または「大岩橋」行き  
【砥部焼伝統産業会館前】下車  
所要時間：約50分

## 坂村真民記念館

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南705  
☎ 089-969-3643  
<http://www.shinmin-museum.jp/>

